

岸和田市教育委員会教育長 様

学校評価計画書

校 園 名 岸和田市立城東小学校

校 園 長 名 谷 早 苗

平成28年度の学校評価について、以下のように実施しましたので報告します

今年度の重点目標								
岸和田市の「知・徳・体、調和のとれた人づくり」をうけて、学校教育目標を「心豊かで たくましく いきぬく子」と定めた。その具現化として、「仲良く協力する子」、「健康で体力のある子」、「よく考え やりぬく子」の3つの子ども像を想定し、細目として「城東輝きビジョン」を策定。評価項目を以下の通り設定します。								
大項目	中項目	具体目標	評価項目	評価方法	評価時期	自己評価	評価基準	関係者評価
知の育成	授業改善	児童が主体となる授業の充実を図る	定期的に管理職による授業観察をおこなう	授業アンケートによる評価	7月実施	A	7月実施調査において、改善傾向がみられる	A
			自主学习ノートを含めた指導の工夫をする	学校教育自己診断などで検証	2月実施	A	学校教育診断「努力を認めてもらえる」項目の改善	A
	教育のユニバーサルデザイン化	学習規律の定着を促進する	下校時の黙想タイムに「立腰」の視点を入れ毎日実施	学校教育自己診断などで検証	2月実施	A	学校教育診断「学校が楽しい」項目の改善	A
			チャイム着席+チャイムで授業開始・授業終了	学校教育自己診断などで検証	2月実施	A	学校教育診断「授業がわかる」項目の改善	A
徳の育成	道徳教育の充実	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う	道徳の授業の交換授業・研究授業を行う	研究授業後の討議会で授業検証をおこなう	交換授業年間3回 研究授業・討議会年間3回	A	2月1日に主に小学校に向けて公開授業・研究報告会の開催	A
		児童の活躍の場の設定	たてわり活動・委員会活動のさらなる推進	学校教育自己診断などで検証	2月実施	A	学校教育診断「行事が楽しい」項目の改善	A
	人権教育の充実	人権を尊重し、自ら考え、行動する力をもつ子の育成	思いやりの心をもち、楽しく集団生活が出来る	学校教育自己診断などで検証	2月実施	A	学校教育診断「社会のルール」項目の改善	A
			人権意識の向上	学校教育自己診断などで検証	2月実施	A	学校教育診断「人権を尊重する意識の形成」項目の改善	A
体の育成	学校給食・食育の充実	望ましい食習慣の形成	ご飯給食の「ごはん」の残量を減らす	定期的な残量調査を実施	適宜	A	全校で「ごはん」残量0の日、20日達成	A
	スキップロープ・5(3)間走の実施	全学年において昨年度の記録の更新をめざす	各種目における記録	実施結果の検証	2月下旬	B	スキップロープに記録更新はなく、5(3)分間走も記録の更新はなかった	A

A・・・達成 B・・・おおむね達成 C・・・やや不足 D・・・未達成